

地位の真理

この学び全体のアウトラインと本日の内容

1. イントロダクション（総論 七つの項目）
2. 各論 33の事柄
3. 結論

6月から9月までに、イントロダクションと各論の第11「神の永遠の計画の中にある者である」までを学びました。今回は、第11の内容が神の選びでしたので、フルクテンバウム博士の別の著書「神の意思と人の意思、救いにおける神の選びと人の自由意思」に基づき、宣教において神の選びと人の自由意志が調和していることを学びました。

本日は、各論の第12「岩なるメシアを土台として立つ者である」と第13「アブラハム契約に近い者とされた」を扱います。加えて、第12に関連して「聖霊の賜物」を、また第13に関連して「聖書における契約」について補足説明します。

前回までの内容の確認

イントロダクション 総論 七つの項目

1. キーワードは「キリストにあって」
2. 信者が持つ地位と実際の生活との関係
 - (1) 信者が持つ地位（メシアの中にあるという地位）と、それにつながる33の事柄は、神の目から信者を見たときの真実である。
 - (2) 信者の実際の生活を人間の目から見ると、そういう地位にあるようには見えない。
 - (3) 信者の人生における歩みを、信者の持つその地位にふさわしいものにしていくこと、これは聖霊の働き「聖化」である。
 - (4) サタンや悪霊との戦いにおいては、信者の実際の生活がどうあるかではなく、メシアの中にある地位とそれに伴う権威によって対抗する必要がある。
3. その地位につくための経路は、聖霊のバプテスマである（Iコリ12:13）。
4. その地位が与えられた源は、神の恵みである（エペソ1:6、2:7）
5. その地位は、信者の権威の基盤である（エペソ1:18~19）
6. その地位に伴う権威を行使することは、サタンに対する最良の防御である。
7. 「キリストにあって」というキーワードと並んで、メシアと信者との関係を教える重要な表現「キリストと共に」・・・神の目から見たとき、信者はメシアと同一の者と見られている。十字架からスタートして全部で8つの展開【キリストと共に、十字架につけられた・死んだ・葬られた・生かされた・復活させられた・苦しんでいる・栄光を受けるであろう・共同相続人となるであろう】。そのすべてが、救いの結果である。神の恵みであって、人の働きではない。

各論 33の事柄

1. 神によって贖われた者である
2. 神と和解させられた者である
3. 神の怒りはなだめられており、神は私に怒ってはおられない
4. 神から赦しを受けている者である
5. 神から義と認められた者である
6. 神からの栄光を受ける者である
7. 闇の支配から解放された者である
8. 心の割礼（キリストの割礼）を受けた者である
9. 神に受け入れられる者である
10. 聖霊の初穂（初なるの実）をいただいた者である
11. 神の永遠の計画の中にある者である

本日の内容

12. 岩なるメシアを土台として立つ者である
 - (1) マタ 7:24~27 岩の上に自分の家を建てた賢い人
 - (2) I コリ 3:9~15 その土台とはイエス・キリストです。
 - (3) エペ 2:20~22 あなたがたは、使徒と預言者という土台の上に建てられており、キリスト・イエスご自身がその礎石です。
 - (4) I ペテ 2:4~6 主（イエス・キリスト）は、尊い礎石
13. アブラハム契約に近い者とされた【異邦人信者にとって】
 - (1) 「近い者とされた」=異邦人が、アブラハム契約の霊的祝福を受ける地位に就かせていただいた、という意味
 - (2) アブラハム契約の3つの約束のうち、土地の約束と子孫の約束とは、イスラエル民族に固有のもの。しかし、3番目の霊的祝福の約束は、異邦人も対象である。
 - ① 創 12:1~7 地上のすべての民族はあなたによって祝福される
 - ② 創 22:18 あなたの子孫によって、地のすべての国々は祝福を受ける
 - (3) 異邦人がアブラハム契約の霊的祝福を受けるためには、メシアを信じる信仰が必要である。
 - ① ガラ 3:16 神は、「あなたの子孫に」と言って・・・その方はキリストです
 - ② エペ 2:13 以前は遠く離れていたあなたがた（異邦人）も、今ではキリスト・イエスの中にあることにより、キリストの血によって近い者とされたのです
 - (4) 適用 ヤコブ 4:8 神に近づきなさい → 信者は神に近い者とされた、その地位を持つからこそ、神に近づく権威が与えられている。その権威を行使して、神に近づけば、信者の罪は洗いよめられる。

聖霊の賜物（フルクテンバウム博士「The Gifts of The Holy Spirit」より）

1. 3つのポイント（Iペテロ4:10）

- (1) それぞれが賜物を受けているのですから・・・すべての信者が、少なくとも一つの賜物を与えられています。
- (2) その賜物を用いて互いに仕え合いなさい・・・聖霊の賜物は、the Body「みからだ」（キリストのからだ、目に見えない普遍的なひとつの教会）の中で、それを建てあげるために用いられるものです。
- (3) 神のさまざまな恵みの良い管理者として・・・信者は、神から授かった賜物を、謙遜に忠実に活用する責任を負っています。これが、「良い管理者として」です。

2. 聖霊の賜物には、重要度に応じて5つの順位があります。また、賜物は全部で19、あります。

重要度に応じて5つの順位		賜物は全部で19		
Iコリ12:27~31		ロマ12:6~8	エペソ4:11	Iコリ12:7~11
第一	使徒		使徒	
第二	預言者	預言	(預言者)	(預言)
第三	教師	教える 勧める	伝道者 牧師・教師	知恵のことば 知識のことば 霊を見分ける
第四	奇蹟を行う者			奇蹟を行う 信仰
第五	いやしの賜物を持つ者			いやし
	助ける者	分け与える 慈善を行う		
	治める者	指導する 奉仕する		
	異言を語る者			異言 異言を解き明かす

7

3

8

Iコリ7:1、7

独身の賜物

1

3. 「使徒の賜物」と「預言の賜物」の終了

- (1) 教会の基礎は据えられた（エペソ2:19~22）
- (2) 新約聖書の啓示が記録された（エペソ3:1~9）

4. 聖霊の賜物を用いる目的（エペソ4:12~14）

- (1) 12節 みからだを建てあげる、13節 そのゴール
- (2) 14節 抑止的な目的もある

5. 信者が「おとなになっていく」(13節) →成長のための手段(エペソ4:15~16)
6. 自分の賜物を見出すには
 - (1) 知る：聖霊の賜物とは何であるかを聖書から学ぶ。
 - (2) 動く：地域教会に属して、何らかの働きをする。その作用を観察する。
 - (3) 他の賜物を発見する：信者にはひとつだけでなく、二つ以上の賜物を与えられていることがあることを前提にして、動いていく。

聖書における契約

神と人との契約：ヘブル語聖書(旧約聖書)に記される八つの契約。契約の当事者の人は、全人類か、イスラエル民族か。契約の内容が、条件付きか、無条件か。この二つの基準で分類する。丸数字は、時期的順序。点線で囲んだ契約は、すでに終了したもの

	条件付き契約	無条件契約
全人類	① エデン契約	② アダム契約 ③ ノア契約
イスラエル民族	⑤ シナイ契約	④ アブラハム契約 ⑥ 土地の契約 ⑦ ダビデ契約 ⑧ 新しい契約

ロマ 9 : 4

	聖書箇所	終了
1	創 1 : 26~30、 2 : 16~17	創 3 : 22~24、 5 : 5
2	創 3 : 14~19	
3	創 9 : 1~17	
4	創 12 : 1~4、 7、 13 : 14~17、 15 : 1~21、 17 : 1~21、 22 : 15~18	
5	出 15 章~レビ~民数~申 28 章	ロマ 10 : 4、 ガラ 3 : 19
6	申 29 章~30 章	
7	II サム 7 : 11b~16、 I 歴 17 : 10b~14	
8	エレ 31 : 31~34、 32 : 40、 エゼ 36 : 26~27	